



秋田県知事
佐竹 敬久

世界に開かれた秋田を目指して

時代の潮流を見ると、ICTの急速な発展や自由貿易の拡大等に伴い、経済や社会、文化など多方面にわたってグローバル化が加速度的に進んでおり、あらゆる分野で競争が激化しております。

こうしたことを踏まえて、元気な秋田を創り上げていくため、今年度、新たな県政運営指針として「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」を策定いたしました。

特に、当県は、日本海を通じて東アジア地域の対岸に位置していることから、地理的優位性を活かし、「海外との交流や県民の国際理解の促進」を積極的に進めることとしております。

現在、中国とは、最も交流の歴史の古い甘粛省と友好協定締結から32年が経過し、これまで人的交流や技術交流、文化交流などを積み重ねるとともに、天津市との友好協定の締結を目指して青少年交流を進めているほか、吉林省延辺朝鮮族自治州との間で交流も行われております。

また、韓国との間では、コンテナ定期航路が開設されるなど経済交流の拡大に向けた環境整備が着実に進んでいるほか、地理的に最も近いロシア沿海地方については、来年度で友好協定締結5周年を迎え、今後は、ハバロフスク地方等も含めたロシア極東地域への交流拡大を目指してまいります。

さらに、成長著しいアセアン諸国の成長を取り込んでいくため、金融機関や商工団体等と連携の下、タイやインドネシア、ベトナムへ経済ミッション団を派遣するなど、官民一体となって経済交流を推進しております。

こうした取組と併せ、外国人の受入や異文化に対する県民の理解を深め、多文化共生社会を構築するとともに、秋田を拠点に世界で活躍できるグローバル人材の育成にも取り組んでまいります。

当県の在留外国人数は、平成16年度をピークに減少傾向にあるものの、県内への留学生数は増加傾向にあるほか、海外からの誘客拡大に取り組んでいることから、県民と外国人との交流機会は、今後も増加していくものと考えております。

このようなことから、在住外国人の相談にきめ細かく対応するため、公益財団法人秋田県国際交流協会に「外国人相談センター」を設置したところであり、今後は、外国にルーツを持つ子ども達への支援を強化することとしております。

また、グローバル人材を育成するため、高校卒業時に日常的な英会話ができるよう、国際教養大学等とも連携しながら、「英語コミュニケーション能力日本一」を目指した取組などを展開してまいります。

今後とも、様々な分野で国際化を積極的に進めながら、当県が有する有形・無形の資源をグローバルな視点で活用し、世界に開かれた「元気な秋田」づくりに取り組んでまいります。